



## <定点把握感染症>

疾患名	全国		山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県) 第1~1週
	第52週	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減		
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)	(34)				(4)			(7)			(4)			(7)			(12)				
インフルエンザ	115002 23.24	1393 ◎30.28	317 9.32	▽	266 ◎26.60	3 0.75	▽	427 ◎42.70	93 ◎13.29	▽	107 ○26.75	61 ○15.25	▽	368 ◎40.89	79 ◎11.29	▽	225 ○17.31	81 6.75	▽	317	
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)	(24)				(2)			(5)			(3)			(6)			(8)				
RSウイルス感染症	1766 0.56	12 0.41	3 0.13	▽	6 1.20		▽	3 0.43	1 0.20	▽		1 0.33	△	3 0.50		▽		1 0.13	△	3	
咽頭結膜熱	2460 0.78	28 0.97	17 0.71	▽	7 1.40		▽	6 0.86	5 1.00	△				13 2.17	12 2.00	▽	2 0.25		▽	17	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10364 3.28	192 6.62	27 1.13	▽	64 ◎12.80	1 0.50	▽	60 ◎8.57	6 1.20	▽	3 1.00		▽	56 ◎9.33	14 2.33	▽	9 1.13	6 0.75	▽	27	
感染性胃腸炎	22894 7.25	189 6.52	25 1.04	▽	59 11.80	1 0.50	▽	22 3.14	1 0.20	▽	7 2.33	10 3.33	△	50 8.33	5 0.83	▽	51 6.38	8 1.00	▽	25	
水痘	1959 0.62	46 ○1.59	26 ○1.08	▽	9 ○1.80		▽	3 0.43	4 0.80	△	9 ◎3.00	6 ◎2.00	▽	21 ◎3.50	15 ◎2.50	▽	4 0.50	1 0.13	▽	26	
手足口病	1806 0.57	4 0.14		▽	1 0.20		▽				1 0.33		▽				2 0.25		▽	0	
伝染性紅斑	1831 0.58	9 0.31	2 0.08	▽				6 0.86	1 0.20	▽	1 0.33		▽	2 0.33	1 0.17	▽				2	
突発性発しん	1076 0.34	16 0.55	3 0.13	▽	1 0.20		▽	2 0.29	1 0.20	▽	1 0.33		▽	7 1.17	1 0.17	▽	5 0.63	1 0.13	▽	3	
ヘルパンギーナ	217 0.07	4 0.14	1 0.04	▽	1 0.20		▽							2 0.33		▽	1 0.13	1 0.13		1	
流行性耳下腺炎	184 0.06	1 0.03		▽	1 0.20		▽													0	
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)	(8)				(1)			(3)			(1)			(1)			(2)				
急性出血性結膜炎	11 0.02																			0	
流行性角結膜炎	421 0.61	1 0.13	1 0.13											1 1.00	△	1 0.50		▽		1	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)				(2)			(2)			(1)			(2)			(3)				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	8 0.02																			0	
クラミジア肺炎	3 0.01																			0	
マイコプラズマ肺炎	171 0.36	4 0.40	1 0.10	▽	2 1.00		▽				1 1.00	1 1.00		1 0.50		▽				1	
細菌性髄膜炎	20 0.04																			0	
無菌性髄膜炎	16 0.03																			0	

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数  
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▽:2週連続減少、▽:今週減少

## <全数把握感染症>

疾患名	報告数	備考
レジオネラ症	1(山形市1)	
急性脳炎	1(最上1)	
結核	2(村山1、庄内1)	※第52週追加報告分2人。

## <通信欄>

※第1週は、年末年始の医療機関の休診に伴い、全体的に報告数が少なくなっています。また、定点医療機関数に変更になっています(下表参照)。

※トピックスでインフルエンザについて掲載しています。

※インフルエンザについての情報は下記のアドレスからご覧になることができます。  
⇒インフルエンザ 総合ページ (厚生労働省HP)



※第1週定点医療機関数(変更ありは赤字)

	インフルエンザ定点		小児科定点		眼科定点		基幹定点	
	通常	1週	通常	1週	通常	1週	通常	1週
山形市保健所	10	4	6	2	1	1	2	2
村山保健所	10	7	7	5	3	3	2	2
最上保健所	4	4	3	3	1	1	1	1
置賜保健所	9	7	6	6	1	1	2	2
庄内保健所	13	12	8	8	2	2	3	3
計	46	34	30	24	8	8	10	10

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	2	7	18	17	15	26	13	23	17	18	13	31	5	16	317
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1	2													3
咽頭結膜熱			3	2	2	4	3	3							17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	2		1	3	5	4	2	3		4		2	27
感染性胃腸炎			7		2	3	1	1	1		3	4	1	2	25
水痘		1		2	1	2	4	4	5	2	3	2			26
手足口病															0
伝染性紅斑								1					1		2
突発性発しん		3													3
ヘルパンギーナ			1												1
流行性耳下腺炎															0

< 令和元年11月 月報 >

2019年12月25日 発行

疾患名	山形県		山形市 保健所		村山 保健所		最上 保健所		置賜 保健所		庄内 保健所		累積 (県)
	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 15	13	8	4	1	1	1		1	1	4	7	152
	定点当り 1.50	1.30	2.67	1.33	1.00	1.00	1.33		0.50	0.50	1.33	2.33	
性器ヘルペスウイルス 感染症	報告数 6	5		1			1	1	2	2	3	1	75
	定点当り 0.60	0.50		0.33			1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数 1	3		2	1	1							21
	定点当り 0.10	0.30		0.67	1.00	1.00							
淋菌感染症	報告数 3	2	1	2							2		37
	定点当り 0.30	0.20	0.33	0.67							0.67		
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	報告数 11	9	2	2			4		1		4	7	70
	定点当り 1.10	0.90	1.00	1.00			4.00		0.50		1.33	2.33	
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数 24	20	2	4	9	8	1	2		1	12	5	225
	定点当り 2.40	2.00	1.00	2.00	4.50	4.00	1.00	2.00		0.50	4.00	1.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数 1			1									3
	定点当り 0.10			0.50									

< トピックス >

インフルエンザが流行しています

第1週は、年末年始の医療機関の休診に伴い、インフルエンザの報告が前週より大幅に少なくなっています。休みが明け、学校や職場での集団生活が始まるとインフルエンザの流行が再び拡大することが予想されますので感染予防を心掛けましょう。

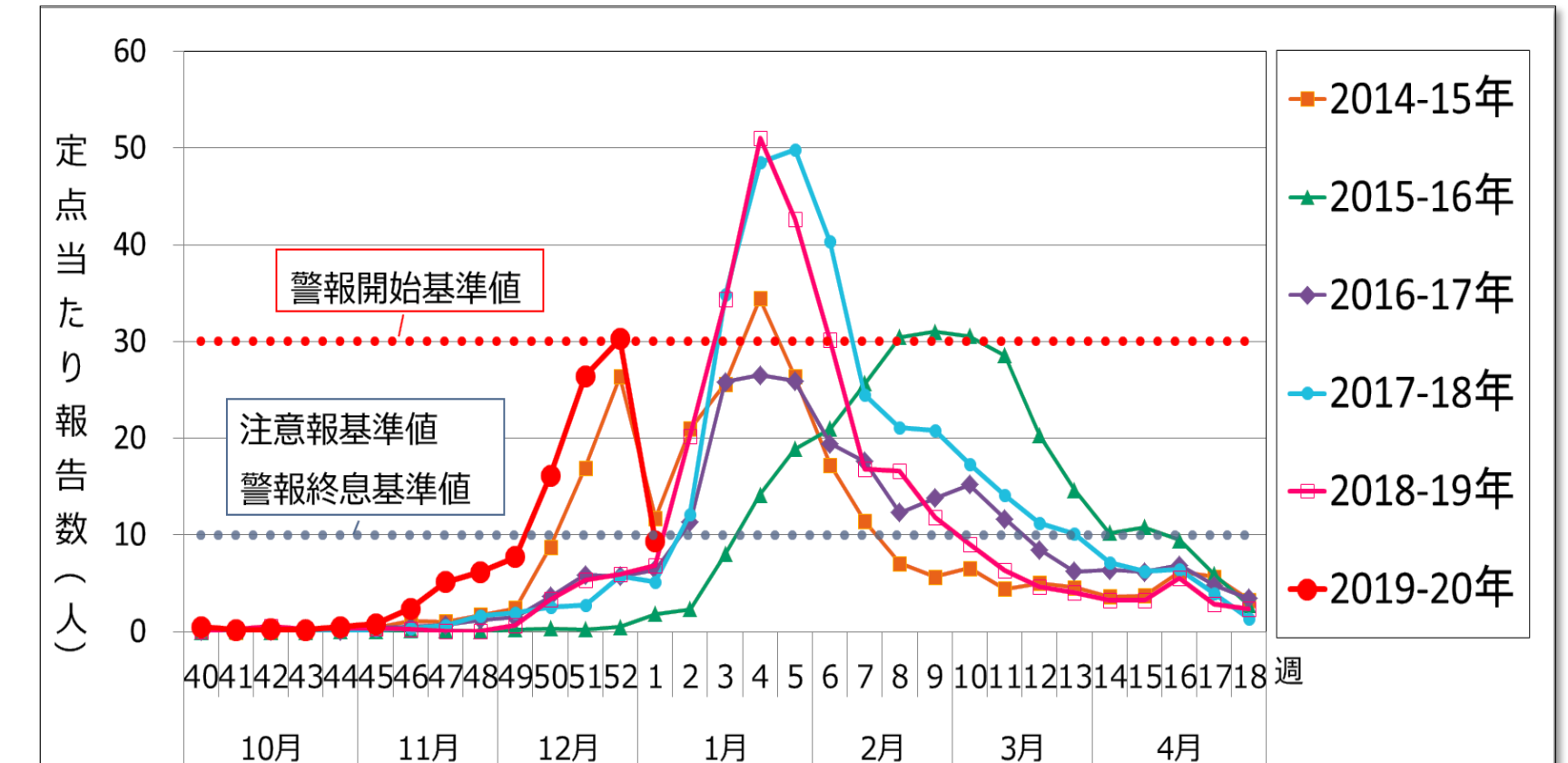
1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルス陽性件数(第1週)

A型：302件、B型：1件、不明：14件

2 インフルエンザウイルス分離・検出状況

山形県衛生研究所の検査により、AH1pdm2009が109件検出されています(2019-20年シーズン、1月8日現在)。

3 定点当たり報告数(山形県)



※地区別のグラフは別紙(グラフ・全数把握感染症)に掲載しています。

インフルエンザを他人に感染させないために咳エチケット！

咳エチケットとは、インフルエンザなどの感染症を他人に感染させないために、個人が咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえることです。特に電車や職場、学校など人が集まる場所で実践することが重要です。

1. マスクを着用する。
2. ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う。
3. 上着の内側や袖(そで)で覆う。



マスクをつけるときは取扱説明書をよく読み、正しくつけましょう。鼻からあごまでを覆い、隙間がないようにつけましょう。

口と鼻を覆ったティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。

出典：厚生労働省ホームページ